

千葉市国民健康保険被保険者の健康の保持増進と医療費適正化を図るため、第2期データヘルス計画(H30~R5年)を策定している。今年度は中間評価を行い、残り3年間(R3~R5)の保健事業の計画・修正を行う。

① 現状の整理と課題

課題1	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率が低く、被保険者の健康状態を把握できていない。</li> <li>40~50歳代の受診率低い</li> </ul>	【対策①】 特定健診の受診率向上									
課題2	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導実施率が低い=生活習慣病発症リスクが高い対象者に保健指導ができていない</li> <li>メタボ該当者・予備群の該当者が年々増加傾向</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>メタボ該当者</td> <td>18.0%</td> <td>18.4% (+0.4)</td> </tr> <tr> <td>メタボ予備群</td> <td>10.7%</td> <td>11.0% (+0.3)</td> </tr> </table>		H30	R1	メタボ該当者	18.0%	18.4% (+0.4)	メタボ予備群	10.7%	11.0% (+0.3)	【対策②】 特定保健指導の実施率向上
	H30	R1									
メタボ該当者	18.0%	18.4% (+0.4)									
メタボ予備群	10.7%	11.0% (+0.3)									
課題3	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診結果より血圧・脂質・血糖のリスク等で、受診勧奨判定値であるが、未受療者がいる。</li> <li>医療費に占める生活習慣病の割合は、約3割である</li> </ul>	【対策③】 生活習慣病の重症化予防									
課題4	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の医療費割合の上位3疾病は、高血圧症・糖尿病・慢性腎不全であり、慢性腎臓病に関連する</li> <li>慢性腎臓病(透析あり)の1件当たりの医療費が高く、医療費割合は国、県、同規模自治体より高い。</li> </ul> <p>R1慢性腎臓病の医療費割合(%)：千葉市9.5 県9.1 同規模8.7 国8.3</p>										

② 保健事業実施計画

事業名	目的	対策	H30	R1	R2	R3	R4	R5
					中間評価			評価
1 特定健診	受診率の向上	① 未受診者勧奨	実施	→	継続	→	→	→
		② 継続受診者の促進	実施	→	継続	→	→	→
		③ 他健診受診者の健診データ受領	モデル	実施	継続	→	→	→
		④ 集団検診		検討	検討し中止			
		⑤ 40歳無料化			検討	検討	実施	→
		⑥ 40歳未満への勧奨・周知			実施	実施	→	→
		⑦ 40歳未満の健康診査(新規)					検討	→
2 保健指導	保健指導実施率の向上	① 特定保健指導利用勧奨	実施	→	継続	→	→	→
		② 積極的支援の民間委託	実施	→	継続			
		③ 動機付け支援の民間委託		実施	継続			
		④ 特定保健指導の研修	実施	→	継続	→	→	→
3 重症化予防	生活習慣病の重症化予防	① 受療勧奨	実施	→	継続	→	→	→
		② 糖尿病性腎症重症化予防	モデル	本格実施	継続	→	→	→

③ 保健事業評価【達成状況】ベースラインと実績を比較 a:改善している b:変わらない c:悪化している d:評価困難 ・「a:改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるもの「a\*」

事業名	対策	事業概要	評価指標	ベースライン(H28)	H30	R1	R5	達成状況	達成要因	未達成要因(達成している場合は未達成になりうる要因)	今後の方向	
					実績	実績	目標値					
1 特定健康診査	① 未受診者勧奨	未受診者に対し、はがき・電話等により受診勧奨を行う。	40~64歳の受診率(%)	25.8	26.4	24.7	30.5	c	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者特性を考慮し、はがきを通知することで長期未受診者の割合が減少した。</li> <li>はがきに受診勧奨期間を記載することで受診を促すことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>40~50歳代の未受診者はレセプトがないものも多く、医療機関に行く機会がないものが多い。</li> <li>65歳以上の未受診者は通院中の者が多いため、医療機関と連携し受診勧奨を行う必要がある。</li> </ul>	引き続き継続 ・40~50歳代の受診率が低いため、若年層に重点を置き受診勧奨を行う。 【追加事業の検討】 ⑤40歳無料化 ⑥40歳未満への勧奨・周知 ⑦40歳未満の健康診査	
			65~74歳の受診率(%)	46.1	48.0	45.9	54.3	c				
			長期未受診者割合(%)	46.6	43.5	43.0	39.0	a				
1 特定健康診査	② 継続受診の促進	経年結果を記載した通知を送付し、継続受診を促す。	継続受診率(%)	71.2	76.9	72.1	78.0	a*	<ul style="list-style-type: none"> <li>経年の健康状態を把握してもらうため、数値をグラフ化し健康アドバイスを記載した。</li> </ul>		引き続き継続 ・送付対象者や内容を検討し、継続して事業を実施する。	
	③ 他健診受診者等の健診データ取り込み	自費の人間ドックや職場健診において特定健診に相当する検査を受けている者から結果の提供を受け、特定健診を受診したものとみなす。提供者へ謝礼を贈呈。(R1~本格実施)	申請人数(人) (有効申請数/全申請数)	55/81 モデル実施	248/295 モデル実施	182/211 本格実施	前年より増加	a*	<ul style="list-style-type: none"> <li>市政だよりや受診券等で事業案内を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請書送付者からの提供数は少ないため、送付対象者の検討が必要である。</li> <li>事業周知が不十分である</li> </ul>	引き続き継続 ・関係機関と連携し、事業周知を強化する。	
	2 保健指導	① 保健指導の利用勧奨	・民間事業者に委託。医療機関にて保健指導を行わない方へ専門職が利用勧奨を行う。	利用率(%)	動機付け支援	17.2	17.7	20.7	30.1	a*	<ul style="list-style-type: none"> <li>動機付け支援の民間委託を拡充し、利用者が増えた。</li> <li>民間委託は利用勧奨から保健指導まで専門職が一貫して行うことにより、利用率・終了率が増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関で動機付け支援を実施している場合、支援終了後に市へ報告するため初回指導の把握ができていない。</li> </ul>
② 動機付け支援の民間委託 ③ 積極的支援の民間委託		R1年度より動機付け支援の民間委託を拡大。初回面談の夜間・休日実施や電子メール等による保健指導の利便性を高める。	終了率(%)		動機付け支援	87.6	81.9	82.1	現状維持	c		
3 重症化予防	① 受療勧奨	健診の結果、受診勧奨値である方に保健指導を行い、受診を促す。	指導後受療率(%)	23.3	29.7	28.1	30.3	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援方法を文書通知後に電話または訪問での指導に変更し、直接保健指導につながる対象者が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診結果の理解がなく、受診の必要性を認識していない者が多い。</li> </ul>	引き続き継続 ・市医師会と連携し、適宜実施方法を見直しながら進めていく。	
	② 糖尿病性腎症重症化予防	人工透析導入防止のため、千葉市医師会と連携し、糖尿病性人証の発症・重症化のリスクの高い方を対象者に保健指導を行う。	事業参加者の新規透析患者数(人)	-	-	0	0	a	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務委託化により事業参加者を増やすことができた。</li> <li>医療機関との連携機関数が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業参加者のうち、途中中断する者がある。</li> <li>事業周知が不十分である</li> </ul>	引き続き継続 ・市医師会と連携しながら、適宜実施方法を見直しながら進めていく。	